

笑顔満天

第 15 号

R2. 11. 26

【発行】

〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115

児童養護施設 天王谷学園

TEL:078-958-0302 FAX:078-958-0346 URL:tennoudani.com



法人理念

○恵まれた自然環境の中で「子どもの最善の利益」を守る。

○一人一人の個性を大切に健全な心身の発達を図る。

日本のコロナ騒ぎも少しずつ落ち着き、Go toキャンペーンでやっと外出、旅行などができるかと思いきや、ヨーロッパでは第2波襲来のニュースが飛び込んできました。

例年なら、フットサル大会やバレーボール大会で盛り上がる子ども達も、この夏は園から行った2泊3日の海水浴のみが、テンションの上がる場でした。子ども達は、学校の運動会や部活動の公式戦もいつもとは違った縮小された形となり、父兄の方々にも観覧に来て頂きにくい形となりました。園内運動会では、全員参加競技が多く、職員も一緒になって競い合い、バーベキューでは満腹の笑顔が多く見られました。秋も深まり、音楽会や文化祭で、スポーツの苦手な子も輝く場面が与えられます。1人1人の笑顔が少しでも多く見られるように応援したいです。

一方で、コロナにも負けず、職員たちも一丸となって頑張ってくれています。今年は、外部研修の機会も少なく、職場と家との往復で、ストレスが溜まることもあったと思いますが、子ども達の笑顔から元気ももらって、笑顔で返す良い循環となってくれたのではないかと思います。

パンダこうとく保育園の先生方も、ビデオで子ども達と体操を一緒にしたり、保育園に来られない子ども達の事を常に思って、様々な工夫を下さったことと思います。その思いは、必ず子ども達の心に届いたと思います。

子ども達への思いを、笑顔にして返すことのできる子どもに育てて行って欲しいと思います。子ども達の、笑顔の満ちあふれる淡河の里であって欲しいものです。

天王谷学園副園長 波来谷 佳子

～お知らせ～

2021年度より、北神区で子育て支援の拠点となる場所を、設ける予定です。親子で遊びに来て頂いて、様々な相談やおしゃべりができる、ほっとステーションになればと思います。様々な事業を通して、親子が笑顔で過ごせる様に、支援をしていきます。

発達上に、テコボコがあるお子さんにも、心理士や保育士が寄り添い、社会福祉士や精神保健福祉士が、施設での経験を元に、お手伝いさせていただきます。





海水浴



8月4日～6日に、2泊3日で竹野浜海水浴場にて海水浴を行いました。気持ちの良い晴天の下、沖まで泳ぐ子、鬼ごっこをする子、砂浜で遊ぶ子、それぞれの楽しみ方をしていました。

2日目は、スイカわり、レクリエーション、花火と盛りだくさん！！年齢関係なく、みんなで楽しそうに遊んでいました。帰るころには「楽しかった～」「ごはんが美味しかった！」と満足そうな表情をしている子が多かったです。（古川）



海釣り

8月7日、平磯海釣り公園にて海釣りの招待行事に参加しました。初めは仕掛けや、アミエビに苦戦していましたが、魚が釣れると釣れた事と、当たりの感覚が楽しかった様でとても良い笑顔を見ることが出来ました。

また、釣った場所を綺麗にして帰る事で自然に感謝する事、自分が釣った魚を頂く事で命を頂いている事の実感にも繋がったように思います。最後になりますが高潮で被害に遭われてからも変わらず招待して頂き有難う御座います。（澄生）



サッカー観戦

8月29日にヴィッセル神戸VS横浜Fマリノスのサッカー観戦をさせていただきました。皆、スタジアムの美しさ、選手たちの技術に目を輝かせていました。

試合の終盤まで負けていたヴィッセル神戸が土壇場で追いついたこと、インエスタ選手を見ることができたことにととても満足している様子でした。

スポーツの楽しさを体感する機会をいただいたことに感謝しております。ありがとうございました。（松本）



園内運動会



前日まで雨が続きどうなるかと思われましたが、子供たちが一生懸命グラウンドの水抜きをしてくれ当日も快晴に恵まれ、無事園内運動会を行うことができました。

毎年恒例神影一周では、幼児から高校生までみんな最後までよく頑張って走っていました。どの競技も一生懸命頑張る元気な子どもたちの姿が見られ、最後のリレーもとても接戦で盛り上がりました。最初から最後まで子どもから大人まで盛り上がりとても良い園内運動会になりました。

疲れた後のBBQは凄く美味しくみんなを笑顔にしてくれました。（中井）





幼稚園 スポーツフェスタ



学校行事

9月27日に幼稚園でスポーツフェスタがありました。コロナの影響で昨年よりは種目が少なかったですが、子どもたちはとても楽しそうに取り組んでおり、子どもたちの一生懸命頑張る姿をたくさん見る事ができました。年長組は、リレーをして接戦でどのチームも一生懸命頑張っていました。年中組は、障害物競争をして一人一人の得意なことを活かしていました。年少組は、みんなで一斉に走り、ゴールを目指して頑張っていました。最後の親子参加の淡河音頭は大人も子どもも一緒になって楽しみました。(柴田)



中学校 体育祭



9月19日中学校の体育会がありました。今年はコロナウイルスの影響を受けて毎年恒例のソーラン節や騎馬戦などの練習ができず、演技を厳選し午前中での実施となりました。競技の練習も例年に比べて時間も少ない中で1年生は中学校生活初の体育会を、2年生は先輩として初めての体育会、3年生にとっては中学校生活最後の体育会を全学年全力で競技に取り組み盛り上げていく姿が見られました。

総合優勝は3年生でしたが、大縄競技では1年生が1位になるなど波乱の展開もありました。(杉村)



中学校 文化祭

10月24日に中学校の文化祭がありました。今年はコロナウイルスの影響で例年実施されている3年生の歌舞伎、1年生の太鼓が中止となり少し寂しい文化祭となりましたが、それを吹き飛ばすような素晴らしい学習発表や演奏をする子どもたちの姿に心を打たれました。また、展示の部では子どもたち一人一人の個性溢れる作品が見る人たちを惹きつけていました。(橋本)



小学校 土曜参観



10月31日、小学校の土曜参観がありました。今年は、運動会の中止や通常の音楽会ができないことから、少しでも子どもたちの活躍の場を見てもらう機会を、という先生方のご配慮により、普段より小規模となりましたが、学年ごとに分かれ、合唱・合奏をする音楽発表会とリレーフェスティバルを行っていただきました。子どもたちも、当日に向け、練習に励み、学習の時間にも合唱曲を口ずさんでしまうほど、楽しみにしていました。

本番は、緊張している様子ではありましたが、それぞれ全力で取り組み、最高の音楽を奏でてくれました。特に6年生は和太鼓を使った八木節を披露し、大迫力の演奏でした。リレーでは本番までチームごとの練習のみということで、初めての対戦で気持ちも高まり、練習よりも早く走ることができたり、応援にも熱が入っていたりと子どもたちの頑張る姿が見られました。(清河)





調理実習

天王谷学園では定期的に、担当と一緒に調理実習を行っています。卒園した子どもたちが自炊で困ることのないよう、基礎的な調理技術を身につけることを目的に置いています。担当ごとに様々な分野で子どもたちと何を作るか相談し、調理し、食べることで、子ども自身もご飯を作る大変さや、作っていただく有難さを学んでいることだと思えます。

今年は「魚」をテーマに各担当で取り組んでいます。美味しく完成したところも思い通りにはいかなかったところも「美味しい」と言い笑顔で食べることができていました。今後も子どもたちと一緒に楽しく取り組みたいと思います。(川辺)



10月18日に地域の青年団の方のご協力の元、幼児と小学生でとうもろこし狩りに行ってきました。子どもたちみんな初めてのとうもろこし狩りの挑戦で前日より楽しみにしていました。農場には子どもたちの身長よりも大きなとうもろこしが実っており、畑の中に入っていくとみんなが隠れてしまい迷子になりそうでした。1人3本のとうもろこしを採らしていただき、帰ってきてからは丸ター本のとうもろこしをポイルして食べ、次の日にバター醤油味のホイル焼きをして食べました。今までにないくらい甘い味で美味しいと言ってみんな大喜びでした。(山本)



今年度2回目の園内研修のテーマは「施設内性教育について」でした。性教育委員会を発足して5年、子ども達に「あなたは大切な心と体を持った大切な存在」と伝える為に、手作りの教材や絵本、資料を使い様々な性教育を実施してきました。

その内容を全職員に伝え、理解してもらおうと同時に委員会メンバーも振り返りができる良い機会になったと思います。研修後、職員からの感想や気になる事、日常で困っている事等を挙げてもらったことで、今後の性教育の内容を考える大きなヒントとなりました。(庄司)



パンダこうとく保育園



今年はコロナウイルスの影響で保育園での生活や行事に大きな変化が起こった年となりました。生活面では、手洗いに加え、清掃・消毒の徹底や職員・保護者のマスクの着用、午睡時の子ども同士の布団の間隔を開ける為に莫蔭からベッドに変わりました。そして、行事の変更や規模の縮小等、「今出来る事、今だからこそ出来る事」を日々試行錯誤しながら生活しています。また、コロナ禍であっても虫や植物など、いつもと変わらず訪れてくれる自然のものがたくさんあります。その大切な変化を子どもたちに寄り添いながら、子どもたちと一緒に感じて過ごしていきたいと思えます。

これからも保護者の方々のご協力、ご理解のもとより一層、感染症対策に注意をしながら子どもたちの笑顔が溢れる素敵な保育園として、職員一同頑張っていきたいと思えます。(安井)

